

2013年3月期第2四半期決算説明会



2013年3月期第2四半期決算実績と 今後の取り組みについて

2012年11月1日
西日本旅客鉄道株式会社

I . 2013年3月期第2四半期の実績と 2013年3月期の見通しについて

決算ハイライト



(単位: 億円)

	2012年3月期 2Q累計実績	2013年3月期 2Q累計実績	対前年		2012年3月期 通期実績	2013年3月期通期		対前年		対予想 増減
			増減	比率(%)		前回(7/27) 予想	今回(10/30) 予想	増減	比率(%)	
	A	B	B-A	B/A	C	D	E	E-C	E/C	E-D
【連結】										
営業収益	6,281	6,394	+113	101.8	12,876	12,880	12,890	+13	100.1	+10
営業利益	603	717	+113	118.8	1,097	1,115	1,210	+112	110.2	+95
経常利益	447	578	+131	129.4	824	865	960	+135	116.4	+95
四半期(当期)純利益	257	347	+89	134.9	294	510	560	+265	189.9	+50
【単体】										
営業収益	4,262	4,367	+105	102.5	8,621	8,625	8,635	+13	100.2	+10
運輸収入	3,771	3,850	+78	102.1	7,587	7,600	7,650	+62	100.8	+50
営業費用	3,701	3,755	+53	101.5	7,728	7,720	7,645	▲ 83	98.9	▲ 75
人件費	1,179	1,169	▲ 9	99.2	2,379	2,335	2,330	▲ 49	97.9	▲ 5
物件費	1,537	1,629	+91	105.9	3,395	3,475	3,415	+19	100.6	▲ 60
動力費	179	187	+8	104.6	362	395	380	+17	104.9	▲ 15
修繕費	554	601	+47	108.5	1,333	1,350	1,345	+11	100.8	▲ 5
業務費	804	840	+35	104.5	1,699	1,730	1,690	▲ 9	99.4	▲ 40
減価償却費	679	658	▲ 21	96.9	1,407	1,350	1,345	▲ 62	95.5	▲ 5
営業利益	560	612	+51	109.3	892	905	990	+97	110.9	+85
経常利益	411	471	+60	114.6	628	660	745	+116	118.5	+85
四半期(当期)純利益	240	254	+14	106.0	221	410	410	+188	185.0	—

単体損益計算書



(単位:億円)

	2012年3月期 2Q累計実績 A	2013年3月期 2Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	4,262	4,367	+105	102.5
運輸収入	3,771	3,850	+78	102.1
その他収入	490	517	+27	105.6
営業費用	3,701	3,755	+53	101.5
人件費	1,179	1,169	▲ 9	99.2
物件費	1,537	1,629	+91	105.9
動力費	179	187	+8	104.6
修繕費	554	601	+47	108.5
業務費	804	840	+35	104.5
線路使用料等	126	119	▲ 6	94.5
租税公課	179	179	+0	100.3
減価償却費	679	658	▲ 21	96.9
営業利益	560	612	+51	109.3
営業外損益	▲ 148	▲ 140	+8	94.5
営業外収益	17	14	▲ 2	—
営業外費用	166	155	▲ 10	—
経常利益	411	471	+60	114.6
特別損益	▲ 7	28	+36	—
特別利益	70	232	+162	—
特別損失	77	204	+126	—
四半期純利益	240	254	+14	106.0

運輸収入の主な増減要因



(単位:億円)

		2013年3月期 2Q累計実績				
		運輸収入	対前年	主な増減要因		
新幹線		1,788	+44 (102.6%)	基礎トレンド(102.0%)	+35	
				特殊 要因	東日本大震災反動増	+10
					GWご利用増	+3
					台風12号反動	+1
					九州新幹線との直通運転効果 等	▲ 13
在来線	近畿圏	1,458	+24 (101.7%)	基礎トレンド(100.9%)	+12	
				特殊 要因	東日本大震災反動増	+6
					台風12号反動	+4
					GWご利用増 等	+2
	その他	603	+9 (101.6%)	特殊 要因	基礎トレンド(100.2%)	+0
					東日本大震災反動増	+5
					台風12号反動	+3
					GWご利用増 等	+2
	在来線計		2,061	+33 (101.7%)		
	運輸収入計		3,850	+78 (102.1%)		

※荷物収入は金額些少のため省略

運輸収入と旅客輸送量の実績



運輸収入

(単位:億円)

輸送人キロ

(単位:百万人キロ)

	2Q累計実績(4/1~9/30)			2Q実績(7/1~9/30)			2Q累計実績(4/1~9/30)			2Q実績(7/1~9/30)		
	2012年 3月期	2013年 3月期	対前年	2012年 3月期	2013年 3月期	対前年	2012年 3月期	2013年 3月期	対前年	2012年 3月期	2013年 3月期	対前年
全社計	3,771	3,850	+78 102.1%	1,970	1,972	+2 100.1%	27,197	27,741	+543 102.0%	14,025	14,046	+20 100.1%
新幹線	1,743	1,788	+44 102.6%	930	923	▲7 99.2%	8,359	8,595	+236 102.8%	4,503	4,456	▲47 98.9%
定期	45	46	+0 101.3%	22	22	+0 101.2%	368	376	+8 102.3%	181	185	+3 102.2%
定期外	1,698	1,742	+44 102.6%	907	900	▲7 99.2%	7,991	8,219	+227 102.8%	4,322	4,270	▲51 98.8%
在来線	2,028	2,061	+33 101.7%	1,039	1,048	+9 100.9%	18,838	19,145	+307 101.6%	9,522	9,590	+67 100.7%
定期	714	713	▲0 99.9%	353	353	▲0 100.0%	11,755	11,763	+8 100.1%	5,741	5,746	+5 100.1%
定期外	1,313	1,347	+34 102.6%	685	695	+9 101.4%	7,082	7,381	+298 104.2%	3,780	3,843	+62 101.7%
近畿圏	1,434	1,458	+24 101.7%	724	731	+7 101.1%	14,282	14,499	+216 101.5%	7,145	7,195	+50 100.7%
定期	576	575	▲0 99.9%	285	285	▲0 100.0%	9,478	9,486	+7 100.1%	4,640	4,643	+3 100.1%
定期外	858	883	+24 102.8%	438	446	+7 101.8%	4,804	5,013	+209 104.4%	2,504	2,551	+47 101.9%
その他	593	603	+9 101.6%	315	316	+1 100.5%	4,555	4,645	+90 102.0%	2,377	2,394	+16 100.7%
定期	138	138	▲0 100.0%	68	68	+0 100.1%	2,276	2,277	+0 100.0%	1,100	1,102	+1 100.2%
定期外	455	464	+9 102.1%	246	248	+1 100.6%	2,278	2,368	+89 103.9%	1,276	1,291	+15 101.2%

単体営業費用の主な増減要因



(単位:億円)

科目	2013年3月期 2Q累計実績		
		対前年	主な増減要因
人件費	1,169	▲ 9 (99.2%)	・数理差異償却減▲14 等
動力費	187	+8 (104.6%)	・燃料価格上昇+10 等
修繕費	601	+47 (108.5%)	・工事進捗差等+25 ・自己資金撤去工事費増+10 等
業務費	840	+35 (104.5%)	・会社間清算増+16 ・システム関連経費増+5 ・発売手数料増+3 等
線路使用料等	119	▲ 6 (94.5%)	・JR東西線使用料減▲7 等
租税公課	179	+0 (100.3%)	
減価償却費	658	▲ 21 (96.9%)	・2007年度税制改正に伴う残存簿価均等償却終了▲29 等
営業費用計	3,755	+53 (101.5%)	

連結損益計算書



(単位:億円)

	2012年3月期 2Q累計実績 A	2013年3月期 2Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	6,281	6,394	+113	101.8
営業費用	5,677	5,676	▲ 0	100.0
営業利益	603	717	+113	118.8
営業外損益	▲ 156	▲ 139	+17	88.8
営業外収益	24	18	▲ 6	-
営業外費用	181	157	▲ 23	-
経常利益	447	578	+131	129.4
特別損益	▲ 3	▲ 11	▲ 7	-
特別利益	94	238	+143	-
特別損失	98	249	+151	-
四半期純利益	257	347	+89	134.9
<i>四半期包括利益</i>	<i>249</i>	<i>259</i>	<i>+9</i>	<i>103.9</i>

セグメント情報



(単位: 億円)

	2012年3月期 2Q累計実績 A	2013年3月期 2Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益*1	6,281	6,394	+113	101.8
運輸業	4,146	4,249	+103	102.5
流通業	1,150	1,152	+1	100.2
物販・飲食	670	669	▲ 0	99.9
百貨店	453	452	▲ 0	99.8
不動産業	437	437	▲ 0	100.0
ショッピングセンター	267	271	+4	101.5
不動産賃貸・販売*3	162	158	▲ 3	97.7
【分譲事業】	【29】	【22】		
その他	546	554	+7	101.4
ホテル	152	159	+6	104.5
旅行	153	172	+19	112.6
営業利益*2	603	717	+113	118.8
運輸業	495	550	+54	111.0
流通業	▲ 19	▲ 6	+12	-
物販・飲食	19	23	+3	119.3
百貨店	▲ 40	▲ 31	+8	-
不動産業	116	141	+25	121.7
ショッピングセンター	39	45	+6	116.8
不動産賃貸・販売	31	39	+7	124.7
その他	3	24	+20	669.6
ホテル	3	7	+4	230.7
旅行	▲ 16	▲ 2	+14	-

*1 営業収益は、外部顧客に対する売上高(外部売上高)を示しており、各セグメントの内訳は、主な子会社の外部売上高の合計値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

*2 営業利益の各セグメントの内訳は、主な子会社の営業利益の単純合算値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

*3 【 】は分譲売上(外部売上高)(再掲)です。

単体業績予想



(単位: 億円)

	2012年3月期 通期実績 A	2013年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(7/27) 予想 B	今回(10/30) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	8,621	8,625	8,635	+13	100.2	+10
運輸収入	7,587	7,600	7,650	+62	100.8	+50
その他収入	1,034	1,025	985	▲ 49	95.2	▲ 40
営業費用	7,728	7,720	7,645	▲ 83	98.9	▲ 75
人件費	2,379	2,335	2,330	▲ 49	97.9	▲ 5
物件費	3,395	3,475	3,415	+19	100.6	▲ 60
動力費	362	395	380	+17	104.9	▲ 15
修繕費	1,333	1,350	1,345	+11	100.8	▲ 5
業務費	1,699	1,730	1,690	▲ 9	99.4	▲ 40
線路使用料等	236	236	235	▲ 1	99.5	▲ 1
租税公課	309	324	320	+10	103.4	▲ 4
減価償却費	1,407	1,350	1,345	▲ 62	95.5	▲ 5
営業利益	892	905	990	+97	110.9	+85
営業外損益	▲ 264	▲ 245	▲ 245	+19	92.8	—
営業外収益	71	65	65	▲ 6	—	—
営業外費用	335	310	310	▲ 25	—	—
経常利益	628	660	745	+116	118.5	+85
特別損益	▲ 17	—	15	+32	—	+15
特別利益	231	—	—	—	—	—
特別損失	248	—	—	—	—	—
当期純利益	221	410	410	+188	185.0	—

運輸収入の見通し



(単位:億円)

	2012年3月期 通期実績 A	2013年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(7/27) 予想 B	今回(10/30) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
新幹線	3,515	3,535	3,540	+24	100.7	+4
在来線	近畿圏	2,873	2,867	+30	101.1	+36
	その他	1,198	1,196	+7	100.6	+9
	在来線計	4,072	4,064	4,109	+37	100.9
運輸収入計	7,587	7,600	7,650	+62	100.8	+50

※荷物収入は金額些少のため省略

単体営業費用の見通し



(単位:億円)

科目	2013年3月期 通期見通し			
		対前年	主な対前年増減要因	対前回
人件費	2,330	▲ 49 (97.9%)	・数理差異償却減 等	▲ 5
動力費	380	+17 (104.9%)	・燃料価格上昇 等	▲ 15
修繕費	1,345	+11 (100.8%)	・業務波動 等	▲ 5
業務費	1,690	▲ 9 (99.4%)	・会社間清算減 等	▲ 40
線路使用料等	235	▲ 1 (99.5%)		▲ 1
租税公課	320	+10 (103.4%)	・固定資産税増 等	▲ 4
減価償却費	1,345	▲ 62 (95.5%)	・2007年度税制改正に伴う残存簿価均等償却終了 等	▲ 5
営業費用計	7,645	▲ 83 (98.9%)		▲ 75

連結業績予想



(単位:億円)

	2012年3月期 通期実績 A	2013年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(7/27) 予想 B	今回(10/30) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	12,876	12,880	12,890	+13	100.1	+10
営業費用	11,778	11,765	11,680	▲ 98	99.2	▲ 85
営業利益	1,097	1,115	1,210	+112	110.2	+95
営業外損益	▲ 273	▲ 250	▲ 250	+23	91.4	-
営業外収益	79	70	70	▲ 9	-	-
営業外費用	352	320	320	▲ 32	-	-
経常利益	824	865	960	+135	116.4	+95
特別損益	▲ 22	▲ 20	▲ 30	▲ 7	-	▲ 10
特別利益	276	-	-	-	-	-
特別損失	298	-	-	-	-	-
当期純利益	294	510	560	+265	189.9	+50
1株当たり当期純利益(円)	152.29	263.37	289.19	-	-	-

連結業績予想(セグメント別)



(単位:億円)

	2012年3月期 通期実績 A	2013年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(7/27) 予想 B	今回(10/30) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益*1	12,876	12,880	12,890	+13	100.1	+10
運輸業	8,390	8,394	8,404	+13	100.2	+10
流通業	2,335	2,358	2,358	+22	101.0	-
物販・飲食	1,334	1,337	1,337	+2	100.2	-
百貨店	949	976	976	+26	102.8	-
不動産業	935	895	895	▲ 40	95.6	-
ショッピングセンター	543	543	543	▲ 0	99.9	-
不動産賃貸・販売*3	376	337	337	▲ 39	89.5	-
【分譲事業】	【107】	【65】	【65】			
その他	1,214	1,233	1,233	+18	101.5	-
ホテル	321	329	329	+7	102.4	-
旅行	372	388	388	+15	104.2	-
営業利益*2	1,097	1,115	1,210	+112	110.2	+95
運輸業	767	780	865	+97	112.7	+85
流通業	▲ 29	▲ 24	▲ 16	+13	-	+8
不動産業	259	260	262	+2	100.8	+2
その他	103	102	102	▲ 1	98.3	-

*1 営業収益は、外部顧客に対する売上高(外部売上高)を示しており、各セグメントの内訳は、主要子会社の外部売上高の合計値です。
内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

*2 営業利益の各セグメントの内訳は、主要子会社の営業利益の単純合算値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

*3 【 】は分譲売上(外部売上高)(再掲)です。

連結財政状況およびキャッシュフロー計算書



(単位:億円)

	2012年3月期 期末 A	2013年3月期 2Q期末 B	増減 B-A
資産	26,429	25,732	▲697
負債	19,094	18,235	▲859
純資産	7,335	7,497	+162
長期債務残高	10,688	10,326	▲361
【長期債務平均金利(%)】	【2.86】	【2.86】	-
新幹線債務	2,845	2,684	▲160
【新幹線債務平均金利(%)】	【5.56】	【5.60】	【+0.04】
社債	4,549	4,399	▲149
【社債平均金利(%)】	【2.07】	【2.13】	【+0.06】
自己資本比率	26.6	28.3	+1.7
1株当たり純資産(円)	3,632.41	3,759.46	+127.05

	2012年3月期 2Q累計実績 A	2013年3月期 2Q累計実績 B	対前年増減 B-A
営業活動によるキャッシュフロー	626	925	+298
投資活動によるキャッシュフロー	▲1,064	▲655	+408
フリーキャッシュフロー	▲437	269	+707
財務活動によるキャッシュフロー	40	▲399	▲440
現金及び現金同等物の増減	▲396	▲129	+266
現金及び現金同等物の期末残高	404	373	▲30

諸元表



(単位:人、億円)

	2012年3月期 2Q累計実績	2013年3月期 2Q累計実績	2012年3月期 通期実績	2013年3月期 通期予想
連結ROA (%)	2.3	2.8	4.1	4.6
連結ROE (%)	3.7	4.9	4.2	7.8
連結EBITDA*1	1,426	1,507	2,791	2,825
連結減価償却費	822	789	1,693	1,615
連結設備投資(自己資金)	871	499	1,954	1,570
単体設備投資(自己資金)	572	376	1,508	1,270
安全関連投資	374	194	977	690
1株当たり配当金(円)	40	55	90	110

*1 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

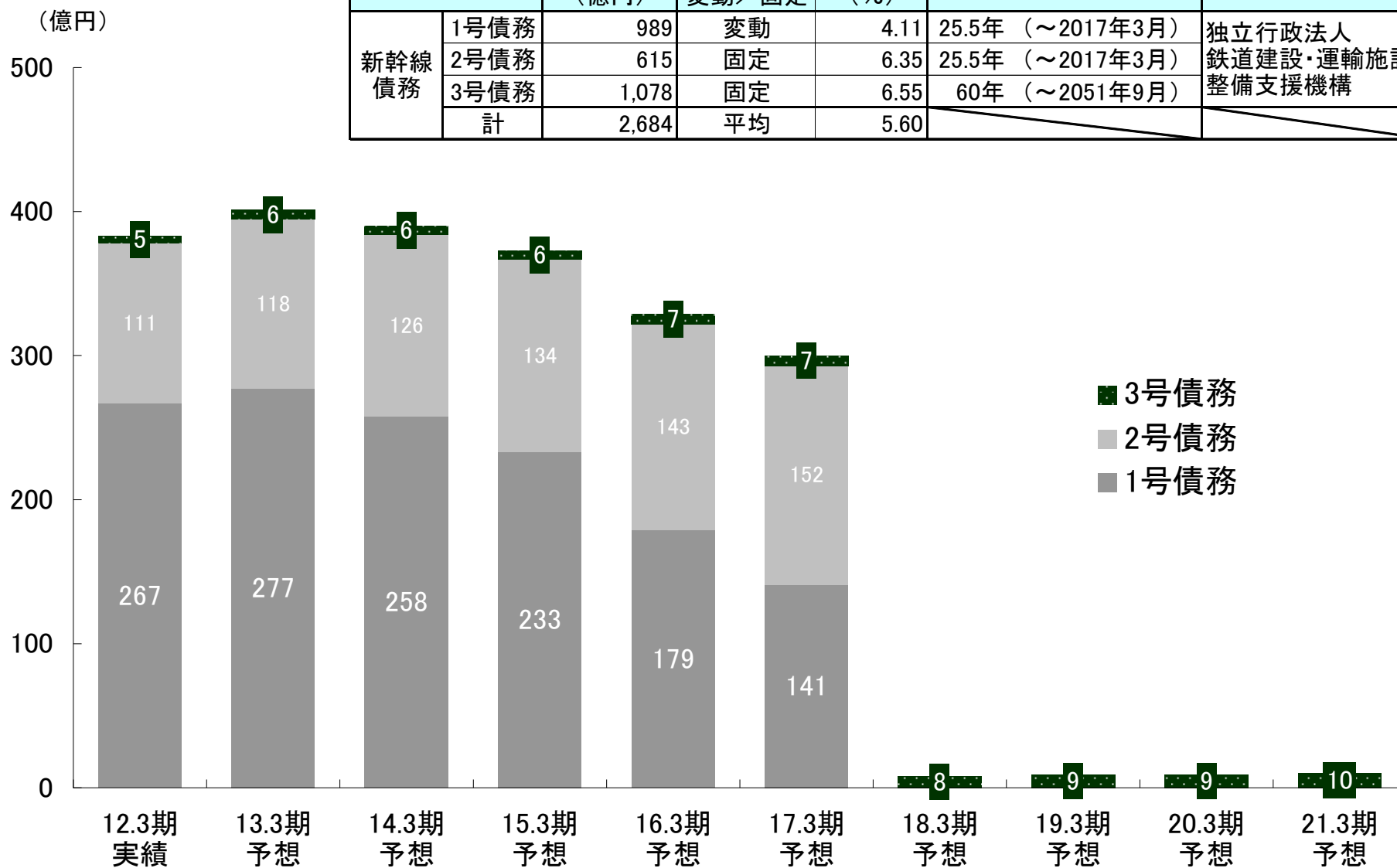
	2012年3月期 2Q累計実績		2013年3月期 2Q累計実績		2012年3月期 通期実績		2013年3月期 通期予想	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数(就業人員)	45,978	26,989	45,642	26,971	45,402	26,778	-	-
金融収支	▲ 163	▲ 157	▲ 153	▲ 146	▲ 324	▲ 312	▲ 302	▲ 290
受取利息・配当金	2	8	2	7	4	14	4	13
支払利息	166	165	155	154	329	326	307	304

新幹線債務償還計画



【2012年9月末】

	残高 (億円)	期末金利		期間	支払先	
		変動/固定	(%)			
新幹線 債務	1号債務	989	変動	4.11	25.5年 (～2017年3月)	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設 整備支援機構
	2号債務	615	固定	6.35	25.5年 (～2017年3月)	
	3号債務	1,078	固定	6.55	60年 (～2051年9月)	
	計	2,684	平均	5.60		



Ⅱ. 今後の取り組みについて

2013年3月期第2四半期累計実績と通期見通し



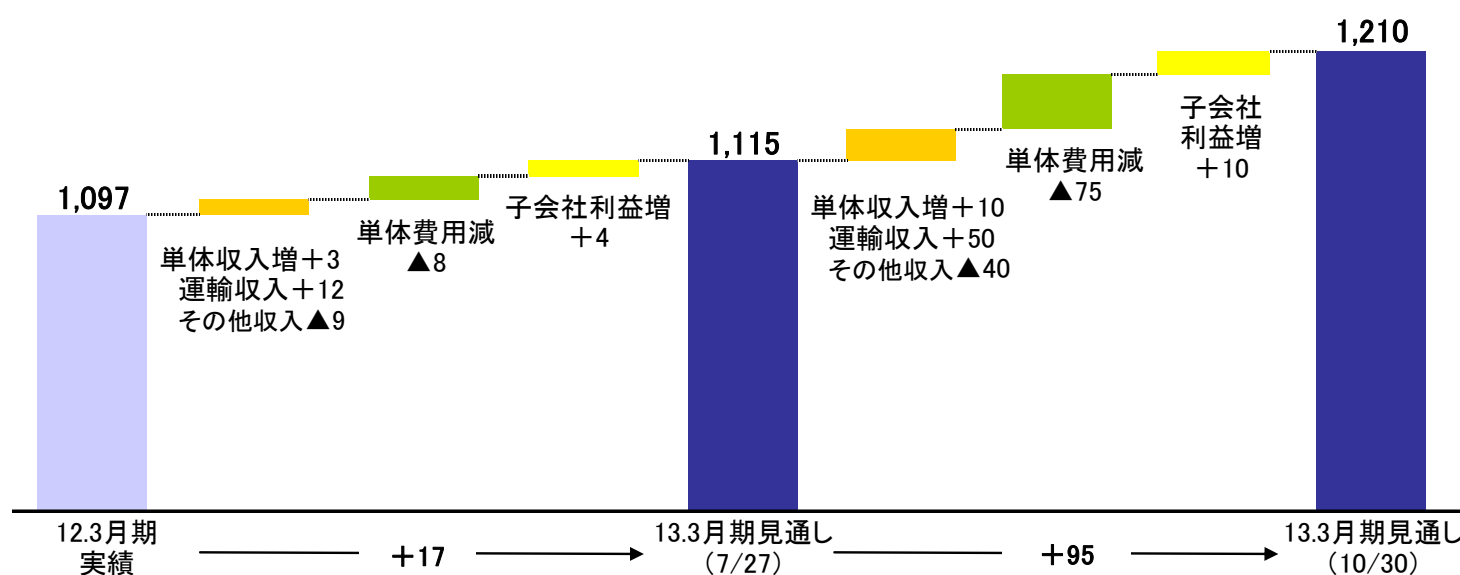
連結業績の実績と見通し

(単位:億円)

	2013年3月期第2四半期累計		通期見通し		
		対前年	前回見通し (7/27)	今回見通し (10/30)	対前回
営業収益	6,394	+113(101.8%)	12,880	12,890	+10(100.1%)
営業費用	5,676	▲0(100.0%)	11,765	11,680	▲85(99.3%)
営業利益	717	+113(118.8%)	1,115	1,210	+95(108.5%)
経常利益	578	+131(129.4%)	865	960	+95(111.0%)
四半期/当期純利益	347	+89(134.9%)	510	560	+50(109.8%)

通期連結営業利益見通しの推移

(単位:億円)



中期経営計画期間中の業績推移と見通し(総括表)



(単位:億円)

	2009年3月期 実績	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	2013年3月期 見通し (2012年10月時点)	2013年3月期 見通し (2010年10月時点)
営業収益	12,753	11,901	12,135	12,876	12,890	13,000
運輸業	8,561	7,974	8,064	8,390	8,404	8,245
流通業	2,153	2,019	2,013	2,335	2,358	2,585
不動産業	711	709	757	935	895	880
その他	1,326	1,196	1,299	1,214	1,233	1,290
営業利益	1,225	765	959	1,097	1,210	955
運輸業	891	452	611	767	865	590
流通業	47	31	35	▲29	▲16	25
不動産業	226	225	222	259	262	265
その他	67	67	96	103	102	90
経常利益	948	481	689	824	960	680
当期純利益	545	248	349	294	560	385
運輸収入	7,737	7,200	7,280	7,587	7,650	7,400
新幹線	3,391	3,124	3,239	3,515	3,540	3,365
近畿圏	3,015	2,861	2,844	2,873	2,903	2,860
その他	1,325	1,214	1,196	1,198	1,206	1,175
ROA	5.0%	3.1%	3.7%	4.1%	4.6%	3.6%
ROE	8.4%	3.7%	5.2%	4.2%	7.8%	5.4%
EBITDA	2,595	2,184	2,468	2,791	2,825	2,660

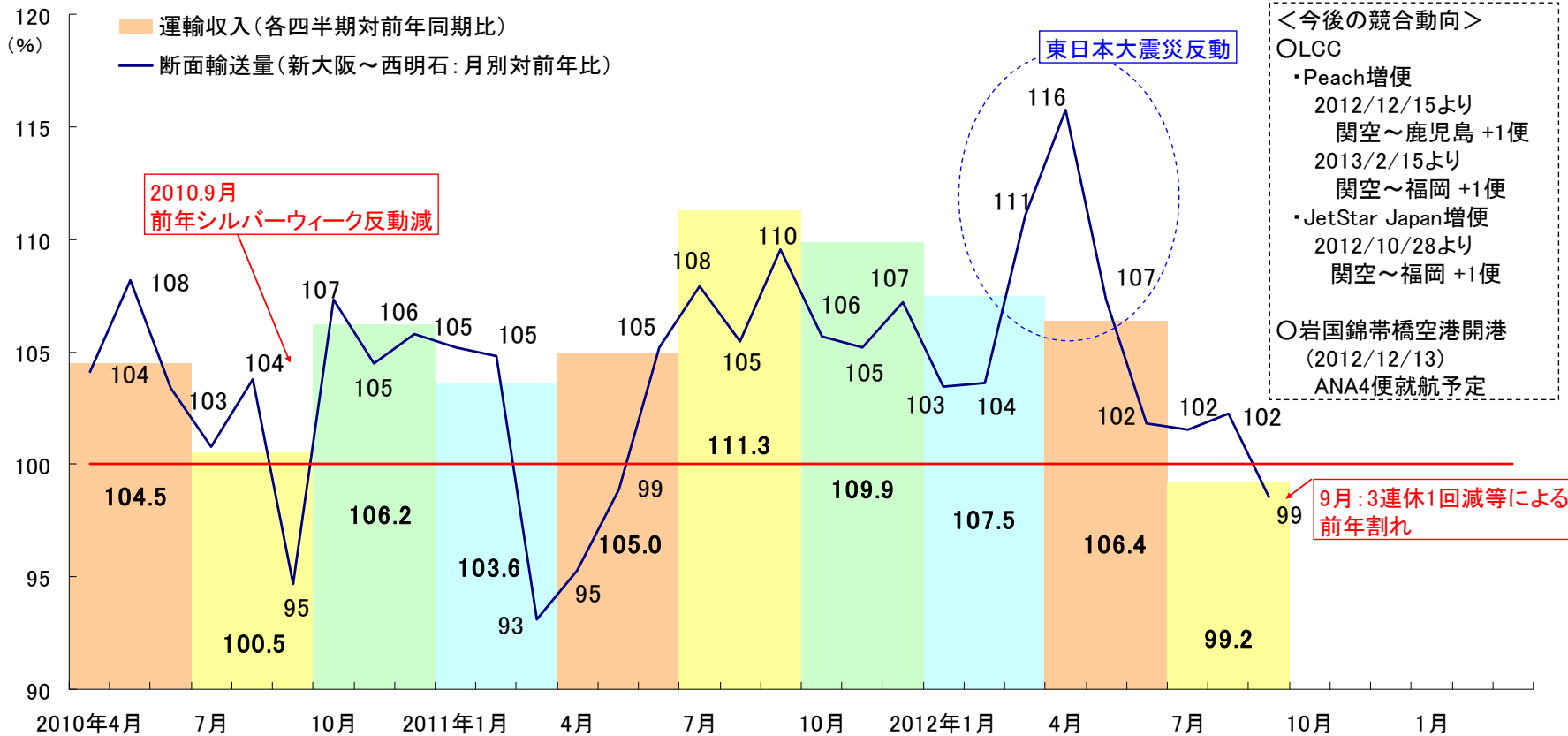
(注)・営業収益は外部顧客に対する売上高

- ・セグメント別営業利益はセグメント間消去前
- ・運輸収入は運輸業のうちJR西日本の鉄道事業の旅客運輸収入
- ・太字は「JR西日本グループ中期経営計画2008－2012見直し」(2010年10月公表)の際に掲げた財務指標

運輸業(山陽・九州新幹線①)



山陽新幹線の月次ご利用状況と運輸収入の推移



<今後の競合動向>
 ○LCC
 ・Peach増便
 2012/12/15より 関空～鹿児島 +1便
 2013/2/15より 関空～福岡 +1便
 ・JetStar Japan増便
 2012/10/28より 関空～福岡 +1便
 ○岩国錦帯橋空港開港 (2012/12/13)
 ANA4便就航予定

- 主な出来事**
- 2011.3.11 東日本大震災
 - 2011.3.12 九州新幹線との直通運転開始
 - 2011.6 高速道路料金休日1,000円等廃止
 - 2012.3 Peach「関空～福岡、長崎」就航
 - 2012.4 Peach「関空～鹿児島」就航
 - 2012.8 Jetstar Japan「関空～福岡」就航

運輸業(山陽・九州新幹線②)

今後の取り組み

【パイの拡大】

○九州新幹線との直通運転効果の最大化

- ・新たな観光素材開発やキャンペーン実施（「鹿児島カレッジ」「期待を超えるぞ！くまもっと県。」）
- ・九州発⇒関西方面や、中国地方⇄九州間の需要喚起（「新幹線で行こう！岡山⇄熊本キャンペーン」）

○シニア世代の需要喚起

- ・「Club DISCOVER WEST」やジパング倶楽部の活用
- ・シニア世代向け割引切符発売（「ノリノリきっぷ」）

○インバウンド需要の取り込み

- ・販売チャネルの開発と受け入れ体制の整備
- ・外国人向けの便利でおトクな切符発売

（「JR-WEST RAIL PASS (Sanyo Area PASS)」乗り放題エリア拡大等）

〈鹿児島カレッジ〉
大学生が鹿児島で地元の方々との交流を通じて様々な経験を積み、鹿児島旅行の魅力をFacebookで発信するプログラム。旅行プランの企画提案をし、当社サイトで紹介予定



熊本キャンペーン
「期待を超えるぞ！
くまもっと県。」

【対航空機マーケットシェアの拡大】

○競争優位のブラッシュアップとアピール

- ・フリークエンシーの高さ（新大阪～博多間57.5往復/日、新大阪～鹿児島間22.5往復/日）
- ・インターネット予約の利便性 → 「エクスプレス予約」「e5489」の利用促進
- ・車内通信環境の優位性 → 携帯電話不感地対策（2013年中に広島まで対策完了予定）
- ・定時性や座席の快適性



「みずほ」「さくら」
グリーン車(左)、普通車指定席(右)

【効率の改善】

○需要に応じたダイヤや商品設定による輸送・販売効率改善

運輸業(北陸新幹線)



北陸新幹線の整備について

○長野～金沢間(約230Km)

完成予定:2014年度末

建設主体:独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構

(当社は受益を限度として機構に使用料を支払い営業運転)

当社営業エリア:上越(仮称)～金沢間(約170Km)

所要時間

	JR		航空機 ^{※3}
	現在 ^{※1}	開業後 ^{※2}	
金沢～東京	約3時間50分	約2時間40分	約2時間50分
富山～東京	約3時間10分	約2時間20分	約2時間30分

※1 「現在」は、上越新幹線+特急「はくたか」利用

※2 「開業後」は平均速度190km/hとした場合

※3 アクセス、イグレスの所要時間も含む



○金沢～敦賀間(約130Km)

2012年6月29日認可・着工

⇒長野～金沢間の開業から、概ね10年強後に開業予定

※最終的には大阪まで開業する計画

※敦賀開業時の敦賀駅での乗り換え利便性向上のため、

「フリーゲージトレイン」の実用化に向けて取り組む。



<北陸新幹線W7系>



<グランクラス>

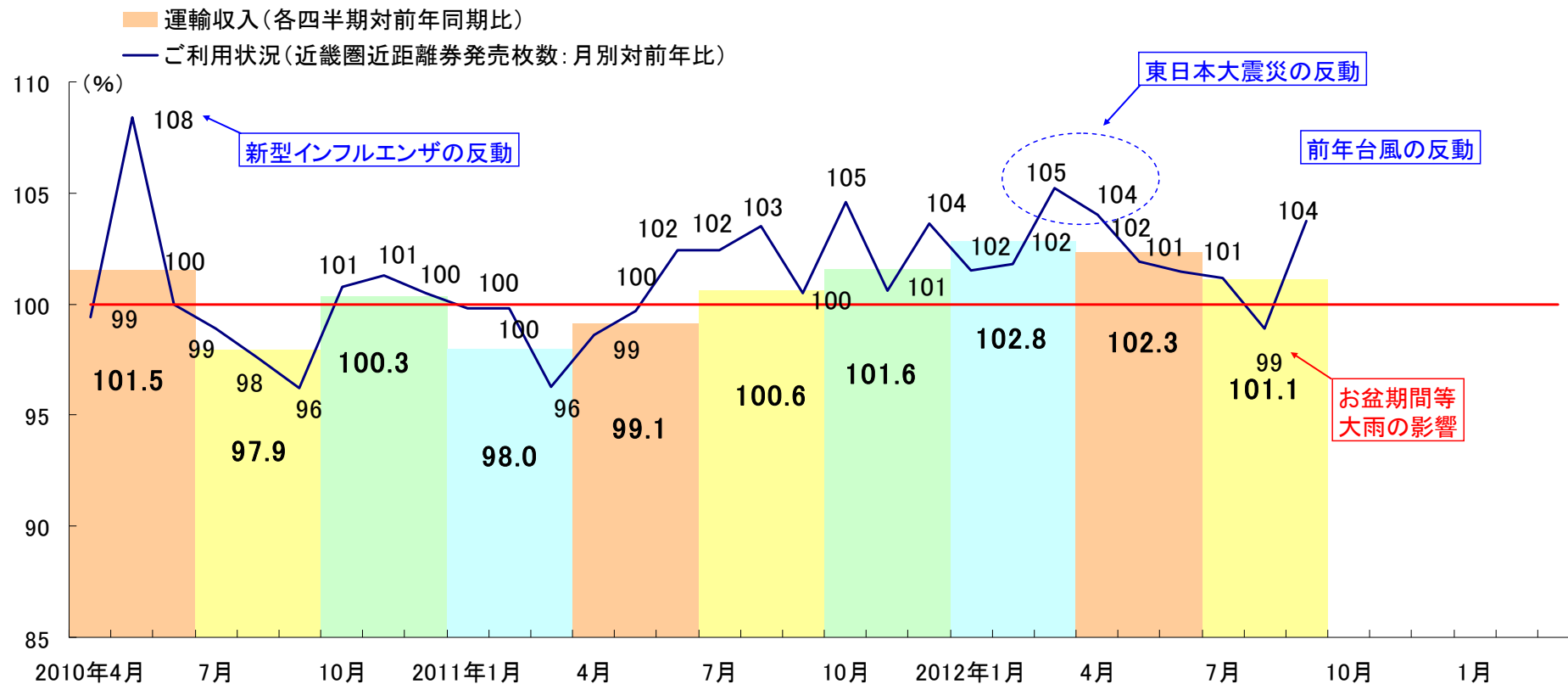


<グリーン車>

運輸業(近畿圏①)



近畿圏の月次ご利用状況と運輸収入の推移



主な出来事
 ○2011.3.11 東日本大震災
 ○2011.5.4 OSAKA STATION CITY開業
 ○2011.9 台風12号
 ○2012.10 エキマルシェ大阪開業

今後の取り組み

○ 拠点駅活性化の推進

- ・大阪駅: OSAKA STATION CITYの更なる集客力向上や「グランフロント大阪」開業(2013年4月下旬)に向けたエリアマネジメントの強化
- ・京都駅: 駅ビル開業15周年記念イベントの開催
- ・三ノ宮駅: コンコースリニューアル(2013年開業予定)

梅田でつながる。梅田がつながる。
UMEDACONNECT
「梅田地区エリアマネジメント実践連絡会」

○ 「地域との共生」の視点に基づく線区価値向上

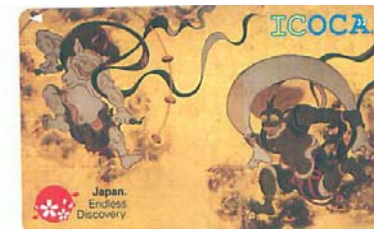
- ・駅および街の機能の充実
新駅設置(六甲道～灘間: 2016年春、茨木～摂津富田間: 2018年春)
路線バス等との乗換え利便性や駅設備の使いやすさの向上
駅型レンタサイクル「駅リンクン」、駅型保育施設の整備拡大
- ・より質の高い安全・安定輸送の提供



〈駅型保育施設の整備〉

○ 公民鉄と連携した鉄道利用の促進

- ・乗換への利便性向上
- ・交通系ICカード全国相互利用開始(2013年春)による鉄道のシームレス化の推進



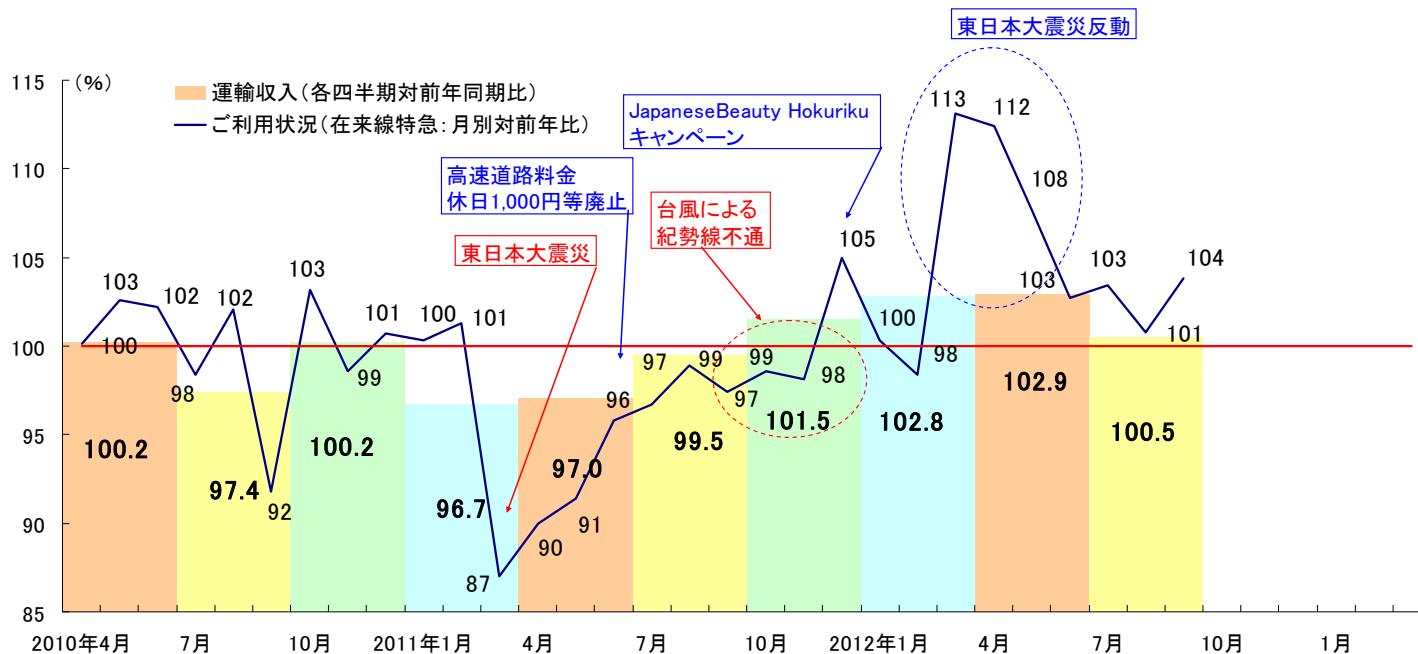
「ICOCA&はるか」
ICOCA(2,000円分)と特急「はるか」をセット発売
関空～新大阪、京都間: 片道用3,000円
往復用4,000円

○ インバウンド需要の取り込み

- ・外国人向けの便利でおトクな切符発売
「JR-WEST RAIL PASS(Kansai WIDE Area Pass)」乗り放題エリア拡大
「ICOCA&はるか」

運輸業(その他在来線)

在来線特急の月次ご利用状況とその他在来線の運輸収入の推移



今後の取り組み

○地域の实情に合わせた持続的な経営の姿を模索

- ・地域と連携した観光開発による地域活性化およびご利用促進
山陰デスティネーションキャンペーン(2012年10月～12月)
- ・効率的な運営体制の構築
メンテナンスやオペレーションの簡素化(バッテリー電車の開発等)
- ・ご利用状況に応じた最適な地域交通の実現
三江線増便社会実験(2012年10月～12月)

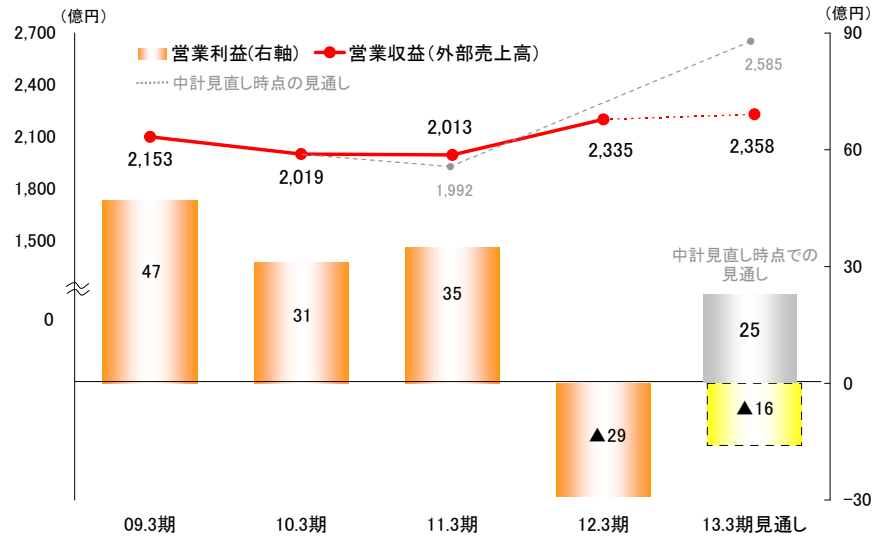


<山陰デスティネーションキャンペーン>

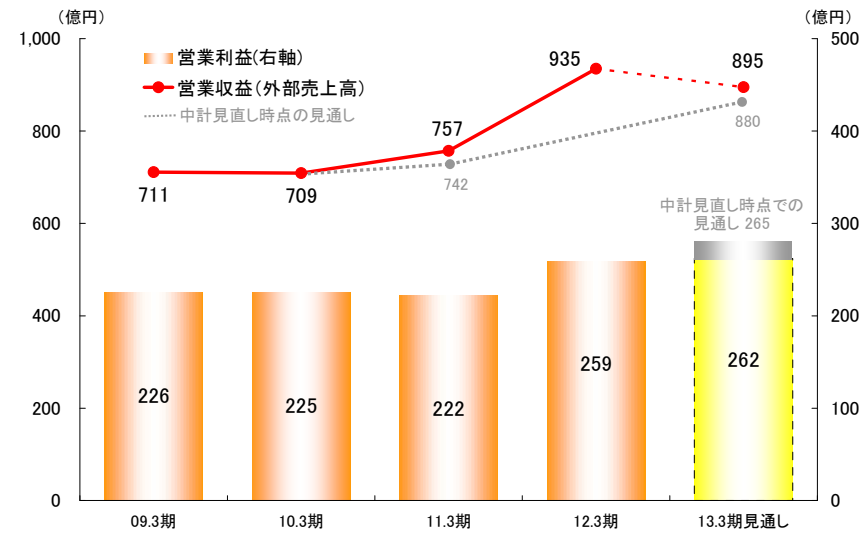
鉄道以外の事業の状況



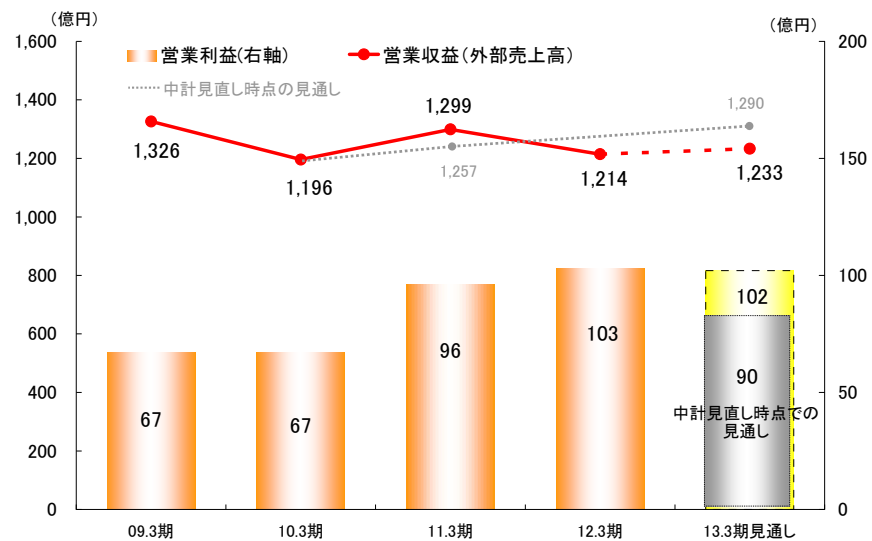
流通業



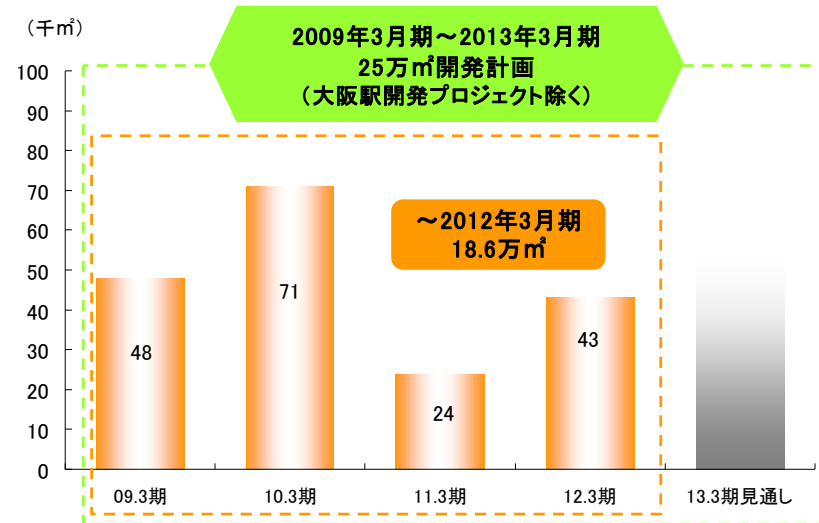
不動産業



その他事業



駅構内・周辺開発の計画と実績



今後の取り組み

【物販・飲食業】

- 駅改良に伴う構内店舗のリニューアル
「エキマルシェ大阪」(2012年10月31日開業)
天王寺駅コンコースリニューアル(2012年11月開業予定)
鳥取駅コンコースリニューアル(2013年開業予定)
三ノ宮駅コンコースリニューアル(2013年開業予定)

○ビジネスホテルチェーン「ヴィアイン」の展開

- 首都圏や山陽新幹線沿線を中心に展開拡大
・ヴィアイン岡山(2012年10月開業:251室、JR「岡山」駅西口すぐ)



＜エキマルシェ大阪＞

- ・当社エリア最大規模のエキナカ商業施設
- ・延床面積:約7,200㎡
- ・店舗数:82店舗
- ・売上目標:初年度約70億円

【百貨店業】

○JR大阪三越伊勢丹 ～商圈顧客をより重視した売上向上施策の展開～

- ・新ブランド導入等による品揃えの更なる拡充
- ・各種優待、イベント企画等による商圈特性を考慮したお買場づくり
- ・MIカードや食品ポイントカードのメリット訴求による更なる固定顧客の囲い込み
- ・販売員の更なるスキルアップ

○JR京都伊勢丹 ～開業15周年に合わせた販売促進施策の展開～

- ・京都駅ビル開業15周年イベントと連動した各種販売促進施策の実施



＜天王寺駅コンコースリニューアル＞



＜鳥取駅コンコース土産店舗＞

鉄道以外の事業の状況(不動産業)

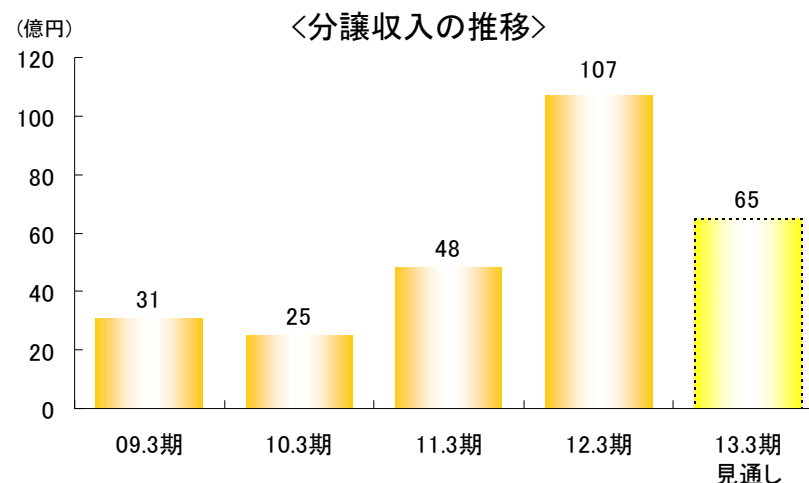
今後の取り組み

【不動産販売・賃貸業】

○分譲事業推進

(今年度以降の分譲予定物件)

マンション名	所在地	引渡時期	総戸数
ジェイグラン吹田千里丘	大阪府吹田市	2012年7月	117
ジェイグラン・エル神戸兵庫	神戸市兵庫区	2013年2月(予定)	99
摩耶シティ NADA FRONT	神戸市灘区	2013年2月(予定)	77
ジェイグラン岡本	神戸市東灘区	2013年3月(予定)	39
ジェイグラン阿倍野文の里	大阪市阿倍野区	2013年11月(予定)	113
ジェイグラン新長田	神戸市長田区	2013年12月(予定)	122
ウエリス舞子	神戸市垂水区	2014年2月(予定)	145



【ショッピングセンター業】

○岡山駅西ロビル「サンステーションテラス岡山西館」

延床面積約8,900㎡、地上14階、ホテル&商業施設
(2012年10月開業)

○姫路駅新駅ビル開発(2013年開業予定)

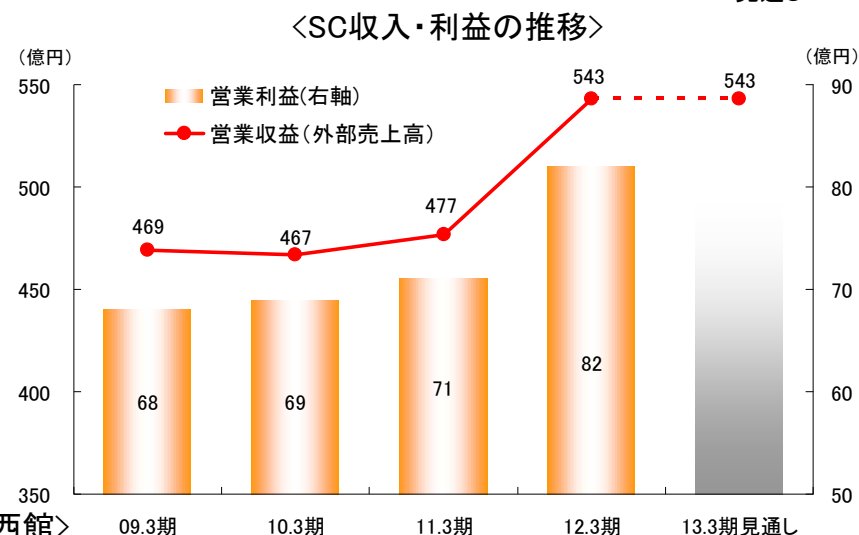
延床面積約31,000㎡、地上6階・地下1階



＜姫路駅ビルイメージ＞



＜サンステーションテラス岡山西館＞
※上層階はヴィアイン岡山

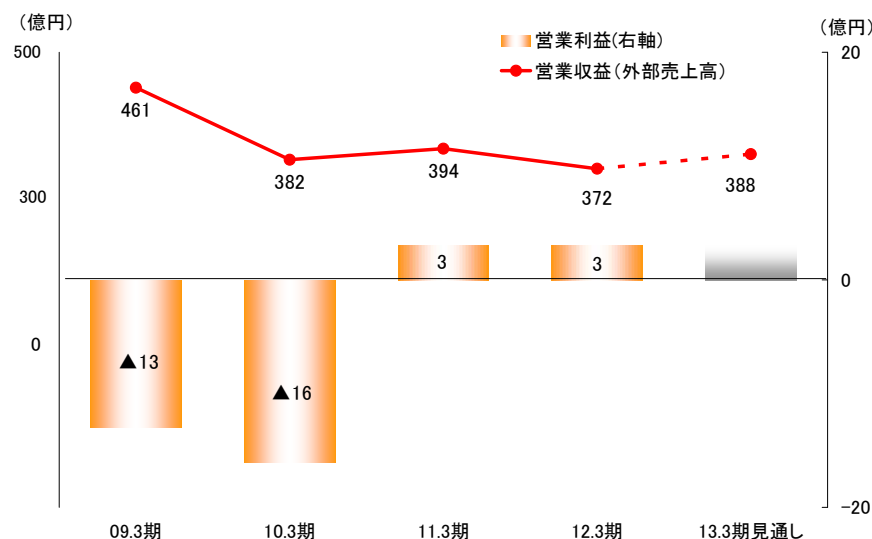


鉄道以外の事業の状況(その他事業)

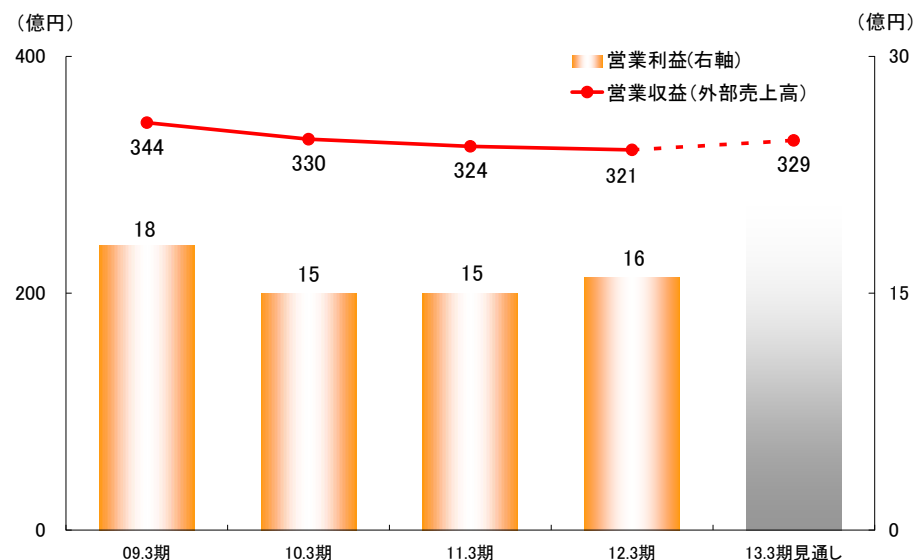
今後の取り組み

【旅行業(日本旅行)】

- インターネット販売やBTM営業、インバウンド等強化
- JR利用商品やヨーロッパ方面商品拡販



【ホテル業】



【その他】

- リハビリデイサービス事業への参入

・「Jパレット南田辺」(阪和線南田辺駅徒歩3分)

2012年10月1日開業

当社建物を活用し、株式会社ジェイアール西日本メンテックが運営
リハビリテーションについては、ポシブル医科学株式会社と提携



〈Jパレット南田辺〉

設備投資計画(連結)



【中計での5年間計画との比較】

(単位:億円)	中計	現時点での見通し
連結	9,800	9,800
単体	7,800	7,800
(安全投資)	4,300	4,600

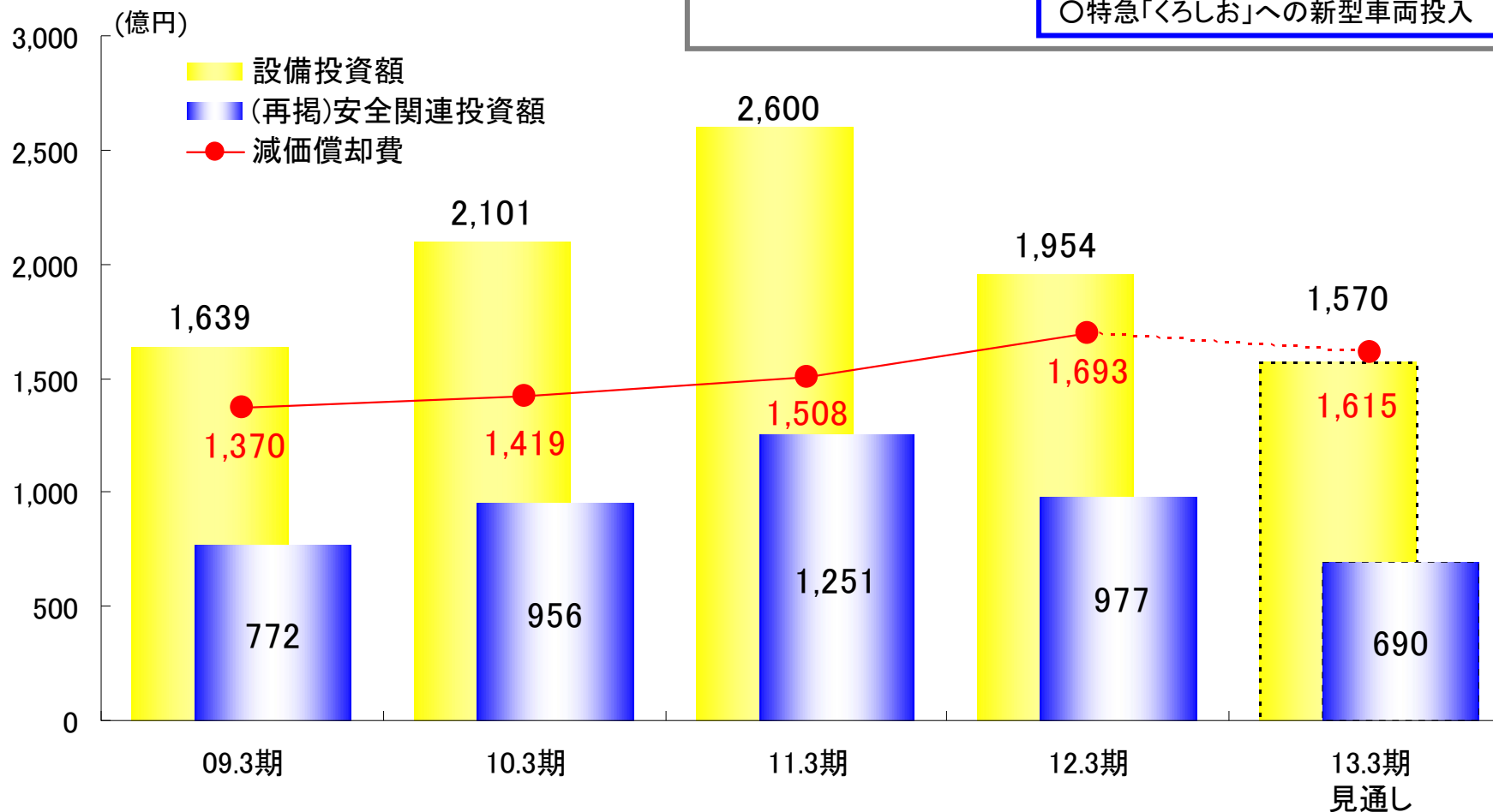
2013年3月期の主な設備投資案件

<成長投資その他>

- 自動改札システム更新
- バリアフリー設備
- 大阪駅開発プロジェクト

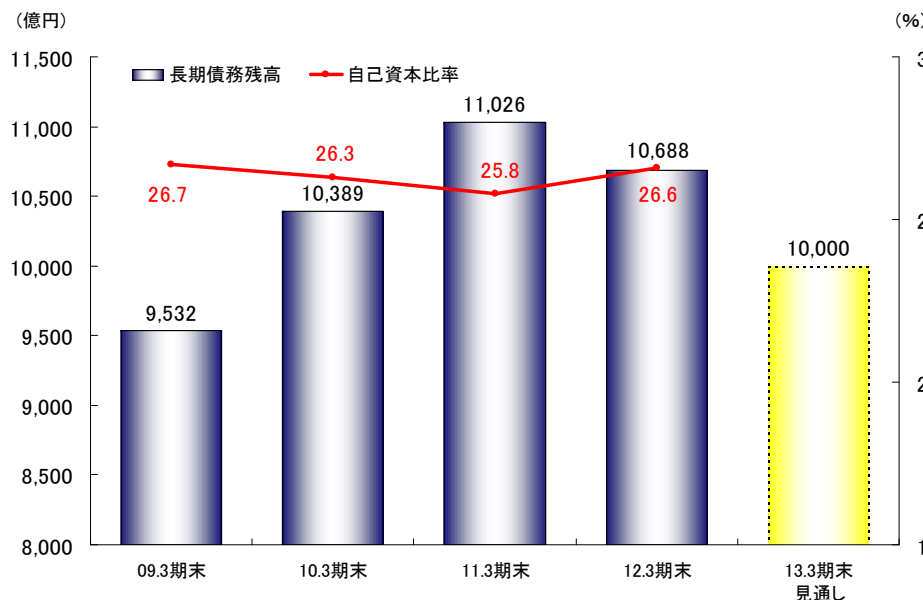
<安全関連投資>

- ATS-P整備等保安防災対策
- 運転状況記録装置
- 人身事故対策、踏切事故防止対策
- 新幹線逸脱防止対策
- 特急「くろしお」への新型車両投入

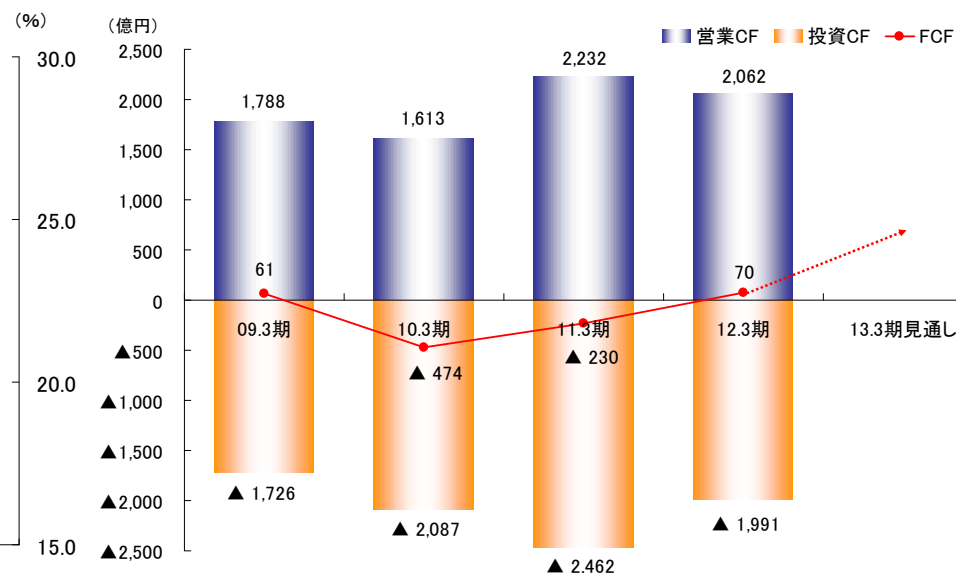


財務・キャッシュフローの状況と株主還元

長期債務残高・自己資本比率の推移(連結)



キャッシュフローの見通し(連結)

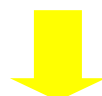


財務状況

- ・自己資本比率は鉄道業界では高水準と認識
- ・2大プロジェクト関連の設備投資が一段落することに伴い、フリーキャッシュフローには余裕が出る見通し

株主還元方針

「プロジェクトの成果が実現することを前提に、今年度において連結DOE3%を目指す」

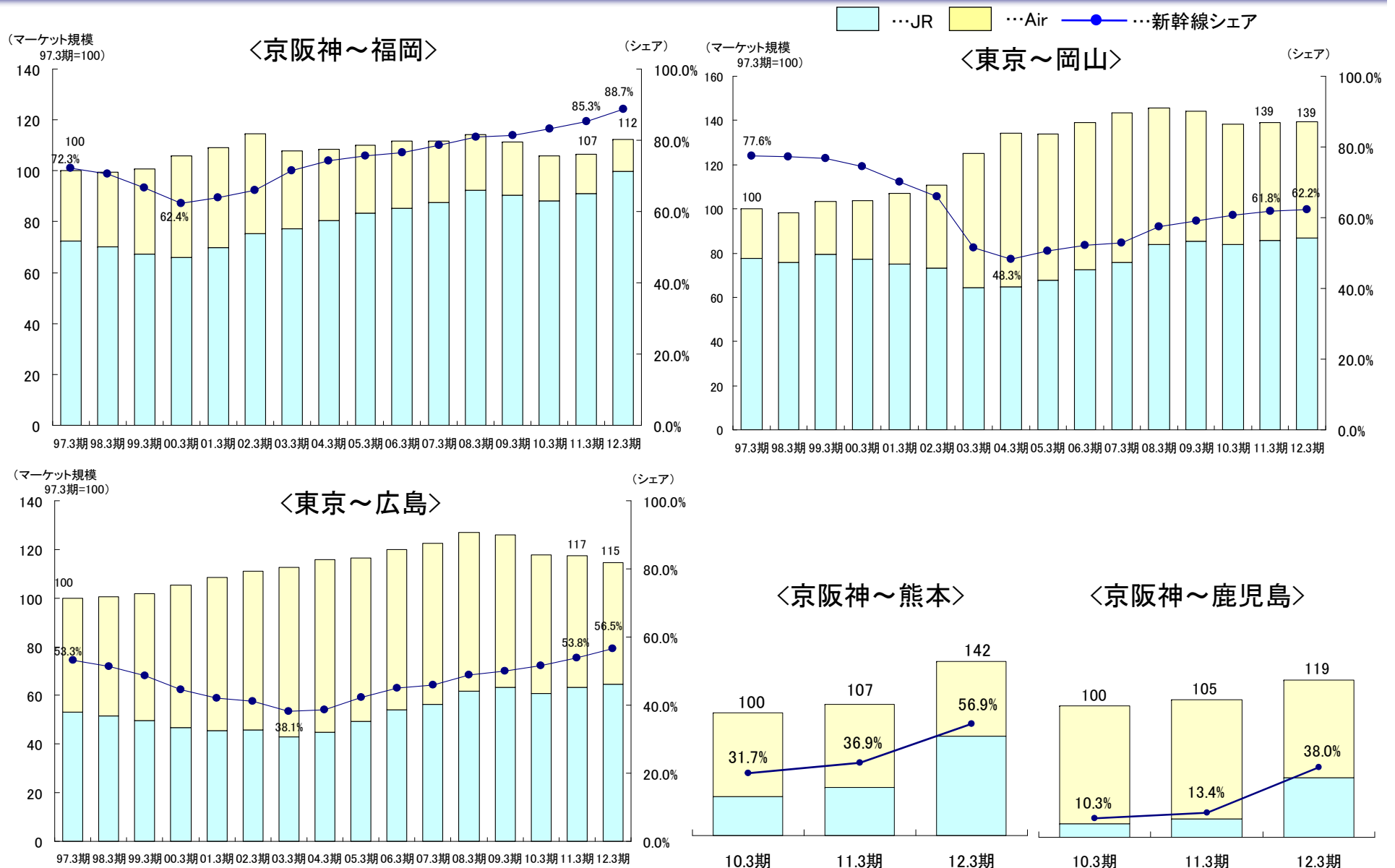


今年度の業績が中期経営計画を達成する見込み
⇒「プロジェクトの成果が実現」と判断

今年度の配当予想は年間110円/株(対前年度+20円/株)

參考資料

対航空機マーケットシェア



※国土交通省「旅客地域流動調査」および「航空輸送統計」による。(2012年3月期は当社推定による速報値)
棒グラフはすべてJRと航空機の旅客数合計(市場規模)を、1997年3月期を100として指数表記。

2大プロジェクト(九州新幹線との直通運転)

概要

(航空機との諸元比較)

2012年10月1日現在

		新幹線	航空機	
			JAL、ANA	Peach Aviation
所要時間*1	大阪～鹿児島*2	「みずほ」3時間42分 「さくら」4時間06分 (新大阪駅～鹿児島中央駅)	約3時間10分 (大阪市中心部～ 鹿児島市中心部)	約3時間40分 (大阪市中心部～ 鹿児島市中心部)
	大阪～熊本	「みずほ」2時間58分 「さくら」3時間18分 (新大阪駅～熊本駅)	約3時間 (大阪市中心部～ 熊本市中心部)	—
運賃	大阪～鹿児島	正規「みずほ」21,600円 「さくら」21,300円 割引 17,000円	正規 26,800円 割引 17,000～ 22,000円	4,290円～13,290円 (ハッピーピーチプラス*3) 5,990円～17,790円
	大阪～熊本	正規「みずほ」18,320円 「さくら」18,020円 割引 14,400円	正規 23,500円 割引 14,400～ 19,300円	—
フリークエンスー	大阪～鹿児島*2	22.5往復/日	12往復/日 (ANA5、JAL7)	2往復/日*4
	大阪～熊本	23往復/日	8往復/日 (ANA5、JAL3)	—

*1 新幹線の時間は最速時間。

*2 2012年4月1日より関西空港～鹿児島間にPeach Aviationが就航。

*3 座席指定、手荷物受託、インターネットでの変更手数料無料サービス付き

*4 2012年12月15日より3往復/日に増便予定

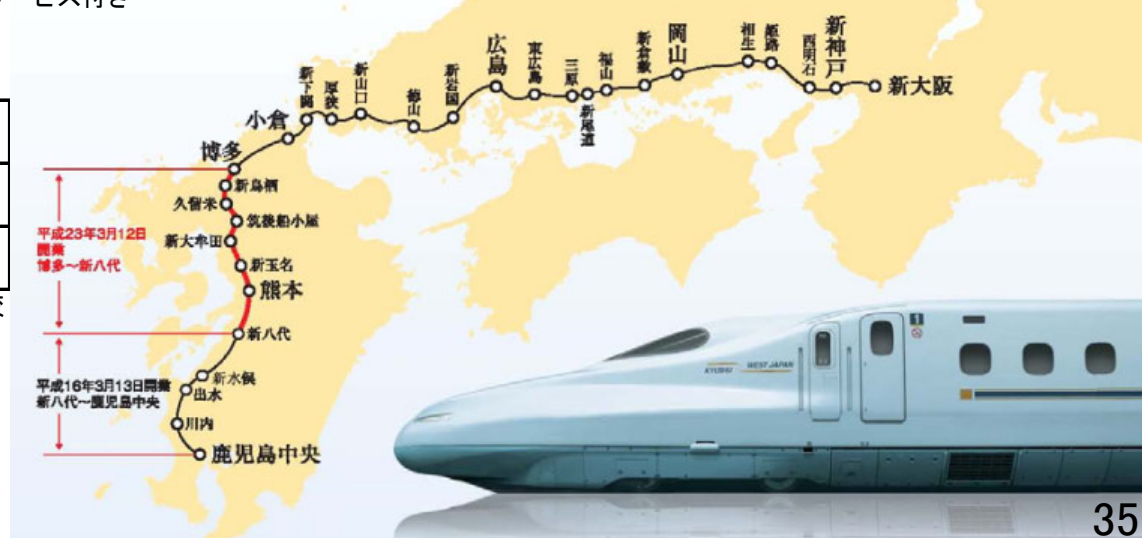
(所要時間短縮効果)

利用区間と所要時間	広島	岡山	新大阪
熊本	1時間37分 (△52分)	2時間13分 (△53分)	2時間58分 (△59分)
鹿児島中央	2時間21分 (△73分)	2時間57分 (△74分)	3時間42分 (△80分)

※最速列車、全線開業前との比較

(増収額:2011年3月期との比較)

2012年3月期	2013年3月期見通し	
実績	期首	今回見通し
150億円	150億円	130億円



2大プロジェクト(OSAKA STATION CITY)

概要

SOUTH GATE BUILDING

OSAKA STATION CITY

NORTH GATE BUILDING

〈既存部分〉
 ・ ホテルグランヴィア大阪
 ・ 大丸梅田店

〈増床部分〉
 ・ 大丸梅田店(B2~15F)



・ オフィスタワー(14~27F)
 ・ LAGUNAVEIL (レストラン、ウェディング:28F)

・ ISETAN MITSUKOSHI (地下2F~地上10F)
 ・ LUCUA (地下1F~地上10F)
 ・ 駅入ターミナルシネマ (シネコン、11F)
 ・ (駅ナカ保育所、11F)
 ・ GRANCISE (スポーツクラブ、12・13F)
 ・ LUCUA DINING eat PARADISE (10F)

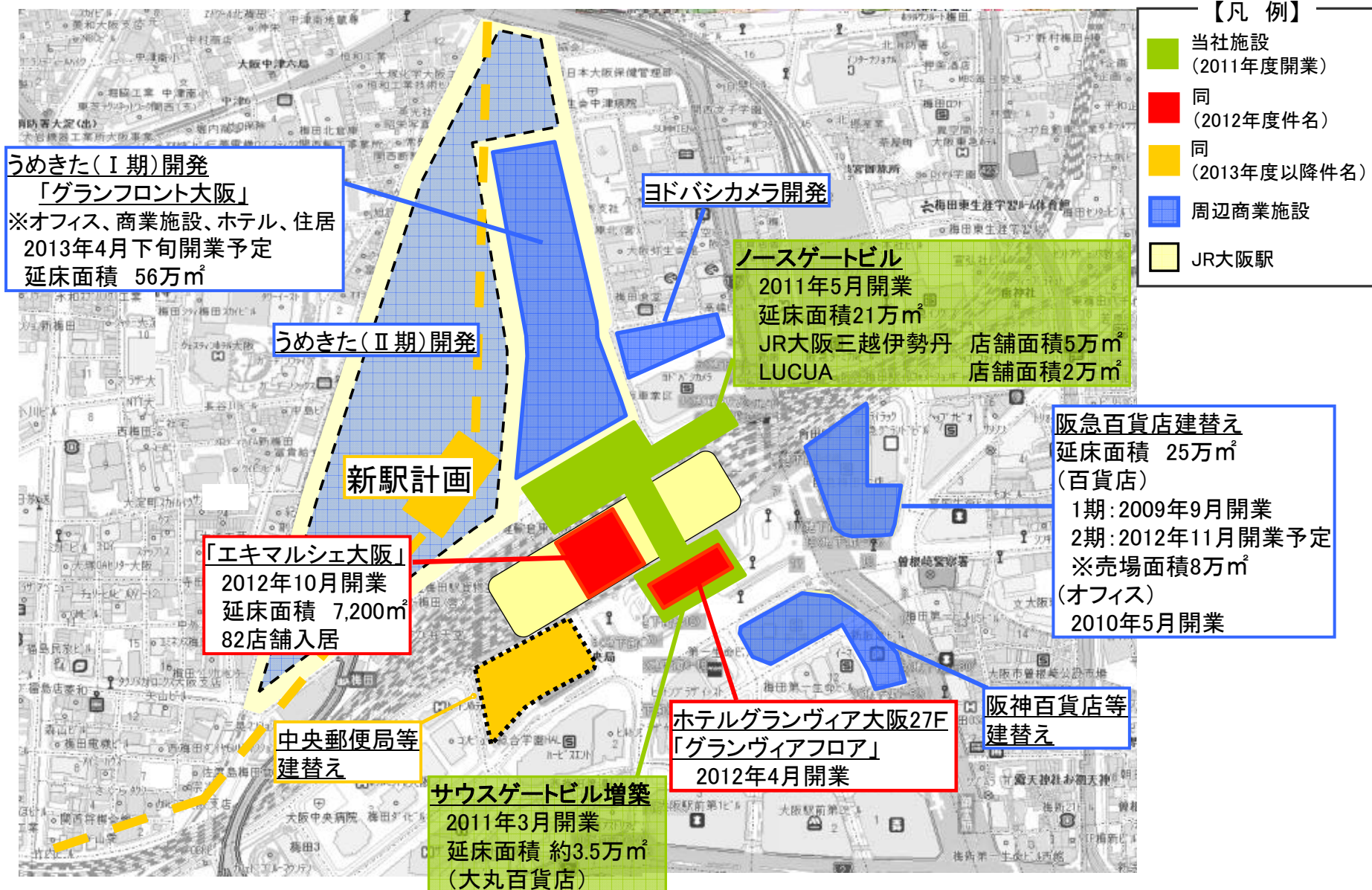
【諸元】

- ・開発規模: 約24万5千㎡
- ・総事業費: 約2,100億円
- ・開業日: 2011年5月4日

【増収効果(2011年3月期との比較)】

	2012年3月期 実績	2013年3月期	
		第2四半期累計	通期見通し
流通業	310億円	152億円	340億円
不動産業	109億円	58億円	113億円
合計	419億円	210億円	453億円

大阪駅周辺の開発の状況



将来の見通しに関する注意事項



- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとする重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
 - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
 - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
 - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
 - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
 - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2012年11月1日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2012年11月1日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。
JR西日本ホームページ「IR情報」 <http://www.westjr.co.jp/company/ir/>